

令和3年度 隠岐の島町都市計画審議会 議事録

日時：令和3年12月24日（金）13：30～15：00

会場：隠岐の島町役場3階 301会議室

出席者：隠岐の島町都市計画審議会委員

吉田雅紀 坂田勝己（欠席） 金田隆徳

中西康之（欠席） 佐々木賢治 村上謙武

前田芳樹 池田賢治 大江寿 米澤壽重

事務局（都市計画推進室）

（室長）石田（室長補佐）前田

（主事）室山（会計年度）山根

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議題

1) 西郷港都市計画臨港地区の変更について

◇資料説明

◇質疑応答・意見

なし

◇審議

吉田会長：原案について異議がないものとしてよろしいか。

委員一同：異議なし

2) 立地適正化計画（素案）について

◇資料説明

◇質疑応答・意見

佐々木委員：立地適正化計画の方向性としては良いと思う。計画では2040年

に人口1万1千人以上を目指しているが、現在の傾向から考えると人口が増加するという傾向はない。そういった中で都市計画区域内ではそういった計画を立てているが、それ以外の地域の機能低下が懸念される。隠岐の島町全体を支える年代の減少が区域外には今以上に危機感が迫ってくる状況で町としての方向性はどうか考えているか。

事務局：小さな拠点づくりも一つの手法と考えている。隠岐の島町が都市計画区域外の拠点をどう維持して活性化していくのかという具体的な計画は示していない。かといって、決して都市計画区域外をないがしろにする訳ではなく、それぞれの拠点として維持していく施策を検討する必要がある。立地適正化計画は都市計画区域内の活性化を図るものである。この人口の7割が集まる区域を維持しなければ、それぞれ他の拠点も間違いなく衰退していくことが考えられる。そのため都市の骨格、交通ネットワークを維持することはそれぞれの地域の拠点の活性化にもつながると考えている。

佐々木委員：JAとしても、コロナ禍で事業を行う中で厳しい地域がある。具体的には中村店があげられるが、お客様の利用数や事業量が急激に落ち込み、12月30日に廃止することを決定している。中村・布施の区長の方々に説明に伺ったが、本件には猛反対で、ATMの設置を要望された。利用率は低いと想定されるが、明日から中村郡地区のATMを稼働する。区域内では計画を立てて20年後を目指していくと思うが、それ以外の地域がどんどん衰退していく傾向にあるので調和のとれた町行政を図っていく必要があると思う。

事務局：関係部署と情報共有を図りながら進めていく。

金田委員：この計画はどの程度のスパンで考えているのか。

事務局：計画期間は20年を設定しているが、5年ごとの見直しをしていく。そのため目標値は5年後のもので想定している。

金田委員：都市計画区域内に人口を誘導していく計画だと思うが、それが20年後に実現するのか。

事務局：あくまで目標の区域を示している。この計画は、立地適正化計画

の必要性を理解してもらうためのものである。強制力はなく、まちを維持するために区域内に誘導をしていく計画となる。

吉田会長：50年先や100年先では現実味がない。そのため20年後を目標に方向性を考える。こういった方向性が示されれば将来を考える人は、そこに向けて店を出すかもしれない。そして、店があればその近くに家が建つかもしいない。コンパクトシティという概念が出てきているが、県の小さな拠点づくりはコンパクトシティという考えをもっていない。ところが、人口が減少していくと各集落の維持ができなくなる。こういった中でバス路線はおそらく10年後には維持できない。国や県では、バス路線やデマンド交通の補助を廃止してタクシーの利用を推進している。地域交通の施策というのは5年後を待たずに見直しが必要だと思っている。

前田委員：人の居住を左右することは難しい課題だと思っている。しかし、社会インフラの効率化を考えていくと誘導の必要性も理解できる。まずは都市計画区域内の効率化を図る必要性があるのは分かる。その次に地域間の連携体系を良くしていく必要がある。区域外の衰退が激しいのが現実であるので、周辺地区との連携を今後しっかり考えていく必要がある。

池田委員：町村合併前に、道路の25分構想があったと思うが、全体の整備状況はどうなっているか。

事務局：今回の議題とは少しそれるため、仔細には分かり兼ねるが、布施に向かう県道は少し進捗が落ちたと思う。県道の整備は予算の問題もあると思う。また、隠岐病院までの搬送時間も考え方にあったと思うが、ドクターヘリが導入されたため何分間でどこまで行かなければならないという考え方が変わっている可能性がある。

吉田会長：島根県ではバイパス化をやるというのが基本的な考えで、10年以上前からそのための計画がなされているため、より期間を詰めて進捗を図らなければならないが、現時点の最優先は油井・那

久から 15 分。その次は大久・布施になるが、道路予算そのものが災害も含めて維持管理に吸収されている。そういった中で進捗期間が、例えば布施との間なら完全に開通するのに 20 年以上かかるというような状況に置かれている。

池田委員：少し道路整備の進捗が気になったため、伺ったところである。

吉田会長：本土の方では、拠点本道の整備に専念して生活道路は半ば見切りをつけている雰囲気になっている。そこまで踏み込まなければ道路予算がないのが現実である。

3) 西郷港周辺地区デザインコンペについて

◇事務局説明

◇質疑応答・意見

なし

5.閉会

以上、会議のてんまつを記録し、その内容の確かなることを証するために、ここに署名する。

令和3年12月24日

隠岐の島町都市計画審議会会長

吉田雅紀

隠岐の島町都市計画審議会委員

佐々木賢治

隠岐の島町都市計画審議会委員

金口隆徳